

## 動物と共生する社会に貢献する仕事

香川県立三木高等学校

文理科 2 年 菅 紅羽

私は本研修を通して、「動物と人間が共に支え合う社会に貢献できる仕事」について探求することをテーマに学びました。私は将来、麻薬探知犬のハンドラーとして空港で働きたいという夢があります。そのため、今回の研修では、人間と動物がどのように協力して社会に役立っているのか、また、現地の人々が動物とどのように関わりながら生活しているのかに注目しながら毎日を過ごしました。

タスマニアで生活をする中で、特に印象に残ったのは、ボーダーコリーという犬種をとっても多く見かけたことです。日本でもボーダーコリーは人気がありますが、タスマニアではそれ以上に、街のあちこちでこの犬と一緒に歩いている人を見かけました。公園やカフェのテラス席、さらには海辺やショッピングエリアなど、どこに行っても必ずと言っていいほどボーダーコリーがいて、「こんなにもたくさんいるんだ！」と本当に驚きました。なぜこんなにもボーダーコリーが多いのか疑問に思い、ホストファミリーにその理由を尋ねてみました。すると、「ボーダーコリーはとても賢くて働き者の犬だから、昔から牧羊犬として重宝されてきたんだよ」と教えてくれました。オーストラリアには広大な牧場が数多く存在し、羊や牛などの家畜を飼っている農場がたくさんあるため、こうした牧羊犬は長い間、農業の現場で重要な役割を果たしてきたそうです。ボーダーコリーはただ可愛いだけではなく、高い知能と俊敏さを活かして人間の仕事を助ける「働く犬」だったのです。

また、タスマニアの生活環境も犬にとってとても良いと感じました。自然が豊かで空気もきれい、住宅の庭も広いため、犬たちはのびのびと暮らすことができます。特に、運動量が多く頭を使うことが好きなボーダーコリーのような犬種にとっては、広いスペースで体を動かしながら過ごす生活は理想的です。反対に、日本の都市部ではスペースが限られているため、同じような暮らし方をするのは簡単ではないと感じました。こうした環境の違いが、人と動物との関係にも影響を与えているのだと思います。

この研修を通して私が学んだ最も大きなことのひとつは、「動物と人間の関係は、その国の文化や歴史、そして環境によって大きく左右される」ということです。オーストラリアでは、動物は単なる「かわいい存在」や「ペット」ではなく、「共に生活し、共に働くパートナー」としての位置づけが強いように感じました。実際に、農業の現場だけでなく、警察や空港、さらには医療や福祉の分野においても、動物たちはさまざまな形で活躍しています。ホストファミリーとの会話の中で、オーストラリアには他にも多くの「働く犬」がいることを知りました。例えば、トリュフ犬と呼ばれる犬たちは、地中に埋まった高級食材トリュフを探す訓練を受けており、農家や料理人にとって大きな助けになっています。

ます。また、セラピードッグは、病院や老人ホームなどを訪れて、人々の心を癒す役割を果たしています。さらに面白かったのは、シドニーの有名な観光地・オペラハウス周辺で、カモメを追いかつぐために特別に訓練された犬がいるという話でした。犬たちは、人間社会の中で本当にさまざまな仕事をしているのだと改めて感じ、私ももっとたくさんの犬の仕事について学びたいと思いました。

このように、オーストラリアでは人と動物がそれぞれの能力を活かして協力し合いながら生活しており、その中で最も重要なのは「信頼関係」だということに気づきました。犬は言葉を話すことはできませんが、人間の感情を読み取ったり、複雑な指示を理解したりする能力があります。その一方で、人間も犬の表情や仕草、体調などを日々観察し、思いやる姿勢が求められます。こうした「心の通い合い」があるからこそ、人と動物は本当の意味でパートナーになれるのだと実感しました。私も将来、麻薬探知犬のハンドラーとして働く中で、犬をただの「道具」として扱うのではなく、信頼できる仲間として尊重し、共に成長していきたいと強く思うようになりました。人々の安全を守るためには、専門的な知識や技術ももちろん必要ですが、それ以上に、動物に対する思いやりと理解が不可欠であることを、この研修を通じて深く学びました。

タスマニアでの生活、現地の人々との温かい交流、そして多くの動物たちとのふれあいは、私にとって本当にかけがえのない貴重な経験となりました。この体験から得た学びを、今後の進路や将来の仕事にしっかりと活かしていきたいと思います。そしていつの日か、人と動物が協力し合ってより良い社会を築くための仕事に就き、少しでも多くの人々の役に立てるような大人になりたいです。

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えてくださったことに、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



▲8月11日 Japanese Class で交流